

## 平成28年度 「夢・HOCKEY・in はなやま」

### 1 趣旨

トップアスリートの豊かな経験と高い技術に触れ、ホッケーを通して技術と知識の向上を図るとともに、望ましい生活習慣を身に付ける。

### 2 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

### 3 事業の概要

(1) 期日：平成29年1月20日（金）～21日（土） [1泊2日]

(2) 参加者

8団体110名（内訳 小学生22名・中学生17名・高校生25名・大人46名）

- ・築館スポーツ少年団
- ・一迫スポーツ少年団
- ・築館中学校ホッケー部
- ・栗原西中学校ホッケー部
- ・築館高等学校ホッケー部
- ・迫桜高等学校ホッケー部
- ・宮城クラブ男女
- ・保護者

### 4 企画・運営のポイント

(1) 地元出身のオリンピック（ロンドン・リオ出場）選手の三橋亜記選手と日本のトップリーグで活躍するコカ・コーラウエスト・レッドスパークス所属、菅原梢選手を招き事業を実施した。

(2) 地元ホッケー協会と連携し運営及び参加募集を行った。

### 5 日程

		午 前				午 後		夜 間			
1/20 (金)							受 付	夕 食	技術指導①	入浴 ・ 情報交換会	消 灯
1/21 (土)	起 床	朝 食	部 屋 点 検	技術指導②	閉 会 行 事	昼 食	解 散				

### 6 主な活動内容

参加者は、宮城県内のホッケーに関係する小・中・高校生と社会人チームと保護者であった。

講師に、地元出身のオリンピック（ロンドン・リオ出場）選手である『三橋亜記選手』とコカ・コーラウエスト所属の『菅原梢選手』を招き、講話や技術指導を通して、ホッケーに関する自分の夢を持ち、その実現に向けて技術向上やチームワークを構築させようとする意識を高めることをねらいとして実施した。参加者は講師の説明や模範プレーを真剣に見聞きし、意欲的に技術習得に取り組んだ。基本的な動作を中心に技術指導を行い。ゲーム的な要素も取り入れながら、指導に工夫を凝らし、和やかな雰囲気の中で、子どもたちは楽しく活動することができた。2日目は、最新のトレーニング方法を参加者たちに熱心に指導し、講習の最後には各チームに講師も交じりミニゲームで交流を深めた。

参加者のアンケートからは、「憧れの2人に徹底指導していただき、とてもうれしく楽しかった」「トップレベルの技にふれることができて嬉しかった。」教えられたことを生かし、素晴らしいプレイヤーになりたい。」等の感想を聞くことができた。指導者からは、「アスリートからの直接指導は選手の意識高揚につながると共に、指導者としても指導の手法を学ぶことができるととても勉強になった。」等の感想が得られた。



【1日目】「講師の三橋選手（右）・菅原選手（左）」



【2日目】「三橋選手とミニゲーム」



【2日目】「最新のトレーニング」



【2日目】「参加者と記念写真」

## 7 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

### (2) 参加者の声

- ・来年もよろしくお願ひします。子供達にとつても、大人にとつても良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・ホッケー未経験者の方も対象に加えてはいかがでしょうか？
- ・とても良い機会だと思う。ホッケー競技を多くの人に知ってもらふ為にもこういう事業が年に何度か実施しても良いと思つた。ありがとうございました。
- ・また、来年も行つてほしいです。子供達の良い交流の場になつたと思ひます。ありがとうございました。
- ・とてもよかつたです。

### (3) 成果

- ・トップアスリートの高い技術を体験したことで、技術を習得するきっかけとなつた。
- ・小学生、中学生、高校生で約70人、大人の参加者もあり指導者を加へ100人近くがプレイホールで賑やかな教室となつた。小中学生たちは準備体操前からボールを触るのを待ちきれない様子がかげジュニアたちの上達には目を見張るものがあつた。
- ・大人もチームに混ざりミニゲームを行い、世代を超えたホッケー交流も見られた。

### (4) 課題

- ・開催時期の設定について、講師との兼ね合ひもありこの時期がベストと考えるが、2日目にホッケー場で開催することも検討していきたい。
- ・ホッケー未経験者も参加できるようなプログラムを検討していきたい。